

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: R3年3月13

所名 グローアップ (単位1)(1階ルーム)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		●好きなスペースを作る	現在、法令の基準を遵守しています。ご利用者様がアクティブに遊びたい時は戸外に出たり、静かに過ごされたい時は環境を整えたりと、工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切である	5			現在、法令の基準を大幅に超えた職員を配置しています。今後も継続できるように努めていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	●階段あり、小さい段差あり	可能な限りバリアフリー化に努めています。今後も、建物の構造上バリアフリー化が難しい時はマンパワー等で補っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		●本人達の不快をなくすようにしています ●子どもたちに分かりやすい整理整頓を心がける ●生活空間の所では出来るだけ下に物を置かないよう配慮している	今後も、清潔で心地よく過ごせる環境の維持に努めます。また、ご利用者様が来る前にルーム内の安全点検やワクワクが感じられるかなど、検討していきます。
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			毎日の日課の振り返り、全体、単位ごとのミーティングも継続し、職員間の共通理解を深め、業務改善に取り組みます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		●意見はしっかりと反映しています ●週に一回以上はPDCAの確認を行っている	前回のアンケート結果を受け、分かりやすい職員紹介や、業務改善に努めています。また、日ごろから保護者様と連携を図り、職員間での認識の違い内容、周知の徹底に努めます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
業務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			保護者様へのアンケート結果を踏まえ、自己評価表を作成し、ホームページに公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1		今年度の事業所自己評価、保護者からの評価による改善を実施しながら、第三者による外部評価が必要か検討します。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		●研修があるときは積極的に参加するようにしている	今年度はコロナウイルス感染症の影響で、研修の機会が減りました。が、オンライン研修を利用することができたので、今後も可能な方法で研修の機会を確保します。
適切な支援の場	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		●定期的に話し合いを行っている。今後、より情報を共有し支援に活かせるように朝のミーティングで取り組む	ご利用様と保護者様の情報を職員で共有し、それを基に適切にアセスメントし、児童発達支援計画を作成します。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		●絵カードや顔の表情のカードを使用しています	アセスメントツールを通して、客観的にご利用様の状況を把握します。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			児童発達支援ガイドラインの支援内容を基盤に、児童発達支援計画を作成しています。今後も、継続します。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		●日課、生活面を通して1人1人の支援計画に沿って支援をしている	個々の支援内容が意識できるよう、実施記録を継続します。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	●毎週、活動プログラムをタイムキーパーを中心に話し合い必要な物の準備を行っている	様々な日課を通して療育ができるよう職員皆で検討し、ご利用者様の意見も取り入れながらの立案を継続します。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		●マンネリ化してくるが少しづつ変わった活動が行えるよう皆で話し合い行っている ●毎月日程を組む際は同じ活動が被らないように、また、季節の行事も入れている	ご利用者様の特性をベースに主体的に、楽しく取り組めるような日課の作成を継続します。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5			日課では集団活動を中心に行い、余暇時間を利用し個別活動の実施を継続します。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		●職員個々に意識して行っていたが今後は9:30～10:00の間で行っていく ●タイムキーパーを中心に確認し、役割分担をしている	その日の担当が朝の会で一日の流れや日課の進め方、役割などを確認しています。今後も継続します。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	●翌朝に行っている ●当日は時間がなく振り返りが出来ないため、翌日振り返りを行って ●翌日の朝に前日の振り返りを行っている	職員の勤務がシフト制により、支援終了後のミーティングは困難です。現在、翌日の朝に、前日の日課の振り返りを行っているため、今後も継続します。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		●日誌で行っている。情報共有として朝の会前のミーティングなどで行っていく ●職員同士でモニタリングを行い次の支援に繋げている	日々の支援記録を基に支援の検証を継続します。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5			モニタリングにより支援の達成度、ニーズの把握を継続します。
関係機関や	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		●管理者や児童発達管理責任者が参加しています	担当者会議に出席し、情報の共有が図れるような体制を継続します。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5			必要に応じて連携が図れる体制を維持します。また、できるだけ地域や市で開催されている研修会などに参加できるように体制を継続します。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者との連携関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		●お迎え時に行っている ●お迎え時に本児の様子や事業所、園、学校等での支援を共有している	その都度、情報共有や相互理解が図れるよう、連絡会や担当者会議に参加できる体制の維持を継続します。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		今後も外部研修に参加し、そこで学んだことを、支援に活かし、職員全体の専門性を高められよう努めます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	2	●戸外活動などに行っている	地域の児童館や公園、ショッピングセンター等を積極的に活用し、障害のない子ども達と活動する機会を継続します。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している		5		自立支援協議会などがある時は、参加できる体制を継続します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			連絡帳や送迎の際に支援内容やご利用者様の様子が伝えられる体制を継続します。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	3		研修、資料、講習などがあれば、保護者様にお伝えできるよう努めます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			契約の際には読み合わせを継続します。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			児童発達支援ガイドラインの資料の配布を検討する。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			保護者様からの相談については、職員全体で話し合いながら適切に対応できるよう努めています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		どういった方法で開催できるかを検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			即、対応できる申し入れについては迅速に対応し、職員全体で検討が必要な相談については、その旨を伝え、後日返答している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			ホームページで活動の写真を掲載しています。今後は、掲載回数を増やせるようにする。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5			今後も内部研修を行い、適切に個人情報の取り扱いについて、理解を深めます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			絵、写真カードやマカトンサイン、文字盤などを継続し、意思の疎通を図っていきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2		現在行っていることを継続しながら、今後も開かれた運営方法について検討します。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5			定期的な避難訓練を継続し、その都度、事業所全体でマニュアルを確認します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5			契約の際に保護者から聞き取りを行い、アレルギーのある子は定期的に把握・確認を継続します。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	●最近出せていないので活用していきたい	ヒヤリ・ハットを活用し、緊急性がある場合は迅速に対応し、安全に支援が提供できる体制を継続します。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1		内部研修を継続し、理解を深めて行きます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5			身体拘束について事業所全体で理解を深め、必要であれば、児童発達支援計画に記載します。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。